

《無断転載を禁ずる》

2022年度 群馬県立女子大学文学部国文学科

転入学及び編入学試験

・ 出題意図

「国語学・国文学及び漢文学」

問題一

問題一は、鎌倉時代の随筆、『徒然草』から出題しました。古文の基礎的な文法や語彙の知識が身につけているかどうか、また、そうした基礎的な知識を応用して文脈を読み解き、年配の人の知識をめぐる筆者の考え方を理解することができたかどうかを問いました。

問題二

問題二は近代の文学史についての問題で、「明治時代、大正時代の白樺派の文学」「プロレタリア文学」を問いました。それらについて十分な知識を持ち、明治、大正、昭和にかけての文学史の流れを踏まえた上で、適切に説明できるかどうかを問いました。

問題三

問題三は国語学についての問題です。国語学の基礎研究・応用研究に関わる基本的な事項を理解し、かつ、日本語の言語事象を具体的にとらえて、それらを的確に説明することができるかどうかを問いました。

問題四

問題四は、『後漢書』卷八十四・列女伝から出題しました。まず受け身の構文や「女」、「以爲」、「詣」、「肯」等、漢文頻出語彙の基礎知識の有無が問われます。次に本文は、仇討ちをめぐる、「徳と法」という近代以前の倫理問題を扱うものです。それを文脈から把握できているかどうかを問いました。